

武蔵と小次郎

熱中症予防で決闘の巻



屋外では、人と十分な距離(2m以上)があるときや、会話をしないときはマスクを外すことができます。

まちがい5

今回のテーマ
北九州スケートボードパーク
(延命寺臨海公園)

イラストのAとBを比べて、違っている部分を見つけてください。

間違いは全部で5つ(5画面)です。

応募方法

応募は、はがきに、間違っている画面番号と、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、市政だよりの感想などを書いて、次の応募先へ。ネットも可。正解者の中から抽選で10人に図書カードを進呈します。

応募先

〒803-8501 広報室広報課
「まちがい5」係
(☎582・2236)

応募締め切り
7月7日(日)必着

インターネットからの申し込み(電子申請)

北九州市 ネット窓口



電子申請は
こちらから

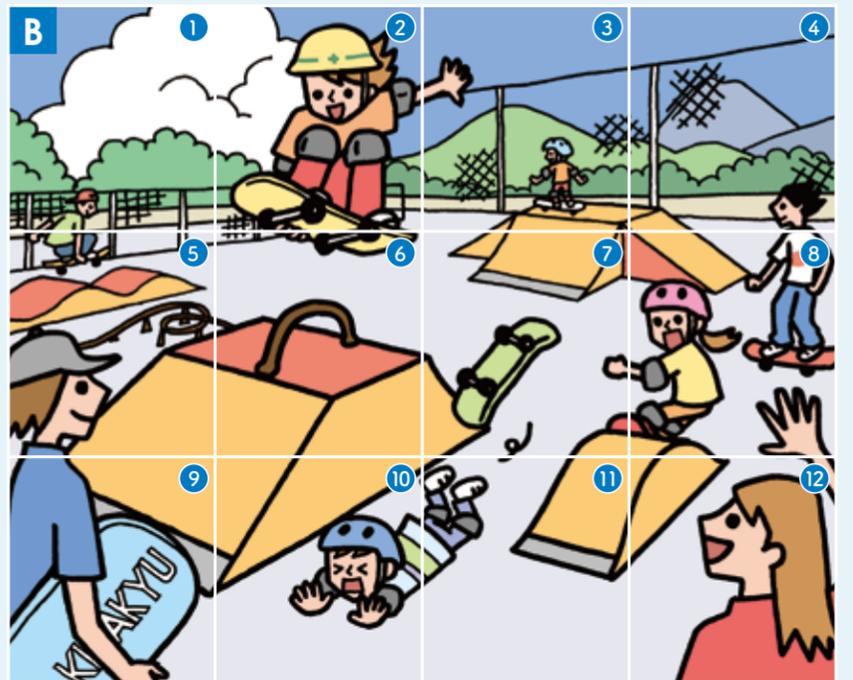
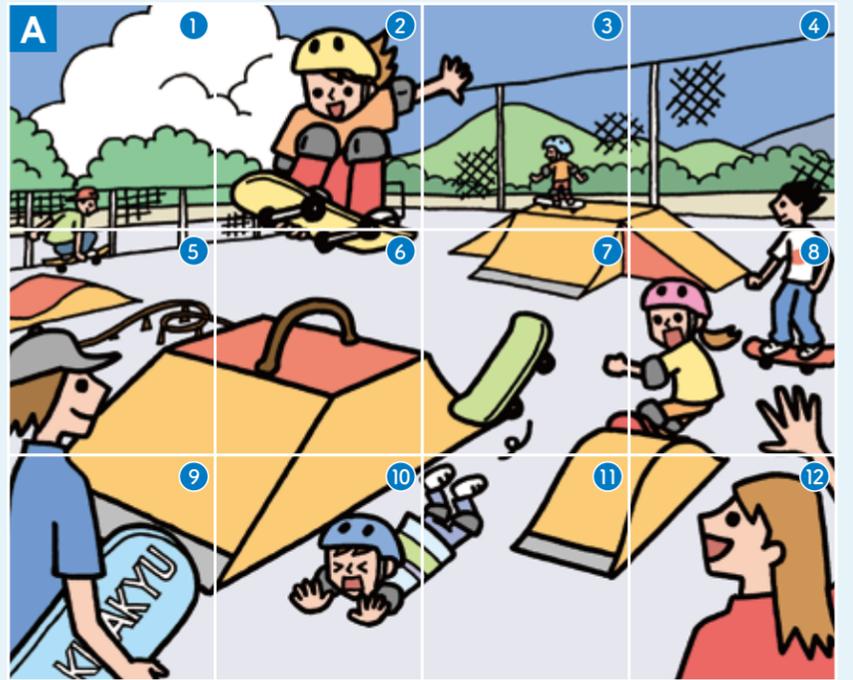
6月1日号の答え

【5つの間違い】①③⑧⑨⑪

- ① 男性のひげ
- ③ 雲の形
- ⑧ 石がある・ない
- ⑨ 服のボタンの数
- ⑪ ホタルとハチ

※当選者の発表は、図書カードの発送をもって代えさせていただきます。

応募総数 **904通**



今からできるSDGs

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2030年に向けてより良い社会を作っていくための世界共通の目標です。目標の達成には、私たち一人一人の行動が大切です。このコーナーでは、SDGsの達成に向けて積極的に行動している人たちを紹介します。

17 パートナーシップで目標を達成しよう



Vol.4 エプソン販売株式会社

「[KAMIKURU]プロジェクト~紙の循環から始める地域共創プロジェクト~」(以下、カミクルプロジェクト)で2021北九州SDGs未来都市アワードのSDGs大賞(企業部門)を受賞しました。今回はスタッフの高田健二さんにお話をうかがいました。



古紙の再生からはじめるSDGs活動

カミクルプロジェクトは、地域で出た古紙を回収し、エプソンが開発した製紙機で再生紙に変え、名刺などのアップサイクル品(より付加価値の高い製品)をつくり出す取り組みです。古紙を廃棄せず再利用することで、紙の原料となる水や木材、輸送にかかる二酸化炭素を削減し、環境負荷軽減へ貢献します。「古紙の回収やアップサイクル品の購入に協力いただく企業や団体など、取り組みを通じて北九州の皆さんのSDGsに対する意識の高さを日々実感します。古紙の仕分けや再生紙を使った製品作りなどには障害のある人も参画しており、まさに地域みんなで新たな価値を創り出しているプロジェクト。活動を象徴する目標に17番のパートナーシップを選んだ理由もそこにあります」と高田さん。「SDGsは日々の心がけが大切。私も、ごみを捨てる前に『これは再利用できないか?』と自分に問い、分別をしっかり行うなど、日頃からSDGsを意識しています」

問 企画調整局企画課 ☎582・2302